特集 2　令和7年度決算を公表

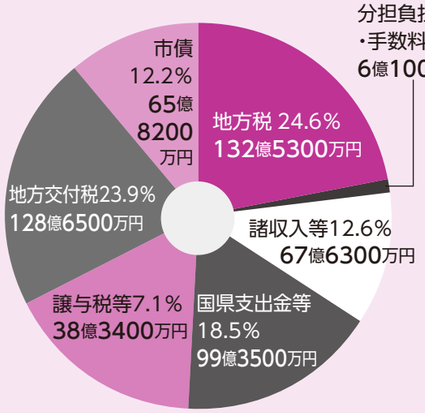
知りたい！安曇野市の財政

令和8年9月定例会で令和7年度の一般会計の決算が認定されました。
決算の概要と財政状況をQ＆A形式でお知らせします。

令和７年度決算額

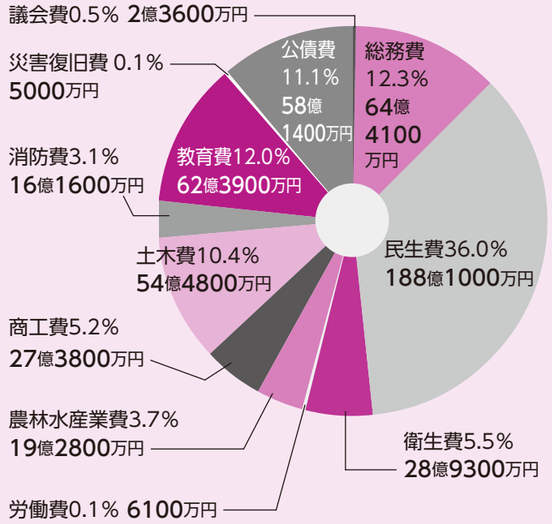
一般会計の歳入

538億3300万円（前年度比＋5.5%）



一般会計の歳出

522億7400万円（前年度比＋5.0%）



Q1 市の「予算」と「決算」って何をすることなの？

A. 市では、皆さんの家計と同じように1年間でどれだけお金が入ってきて（歳入）、どれだけお金を使うか（歳出）を計算して計画を立てています。この計画を**予算**といい、実際に1年間お金をやりくりした結果を**決算**といいます。

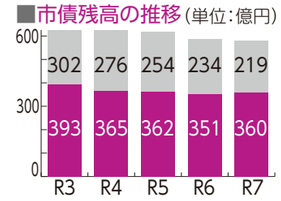
Q2 令和7年度の決算はどうだったの？

A. 令和7年度の市の収入（歳入）は538億3300万円、支出（歳出）は522億7400万円、収入から支出を引いた差引は15億5900万円でした。そのうち翌年度に使うために繰越した分を除くと、10億6400万円の黒字となりました。

Q3 市の借金ってどうなっているの？

A. 市は公共施設を建設する時などに、必要なお金を金融機関等から借り入れることがあります。この借金を「市債」といいます。市は将来の負担を考えながら、厳選して事業を進めており、国の支援が多く受けられる有利な市債を選びながら事業を進めています。こうした中、令和7年度の市の借金総額（市債残高）は、前の年よりも5億5400万円減って、579億700万円となりました。

■市債残高の推移（単位：億円）

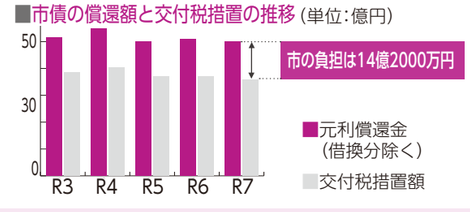


令和6年度より5億5400万円減少しました

Q4 借金返済はすべて市のお金で賄っているの？

A. 市の借金返済には、国からのお金（地方交付税）が補てんされています。令和7年度は返済額50億1000万円のうち、35億9000万円は国から補てんがあったため、実際に市が負担した額は約28.3%の14億2000万円でした。

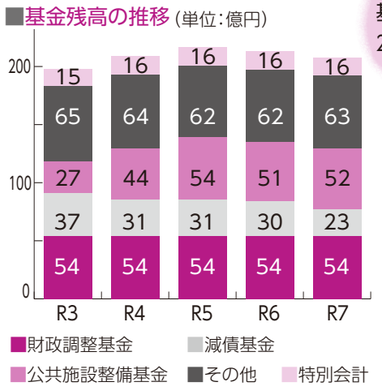
■市債の償還額と交付税措置の推移（単位：億円）



Q5 市は貯金しているの？

A. 市では「基金」という貯金をしています。基金には①急な出費などに備えるお金（財政調整基金）、②借金を返済するためのお金（減債基金）、③施設を整備するためのお金（公共施設整備基金）などの種類があります。各基金の目的に沿って計画的に運用しており、令和7年度の基金残高は207億9600万円になりました。

■基金残高の推移（単位：億円）



基金残高は207億9600万円

Q6 市の財政は健全なの？

A. 市の財政状況を評価するための主な基準に実質公債費比率と将来負担比率があります。安曇野市はいずれの比率も国が定める基準より下回っているため、市の財政は健全な運営を維持しています。

■財政状況を評価する指標

	R7	R6	国が定める基準
実質公債費比率	7.4%	7.9%	25.0%
将来負担比率	−	−	350.0%

■用語解説

実質公債費比率
その年度の標準財政規模に対する借金の返済にあてた割合

将来負担比率
その年度の標準財政規模に対する市が将来返済するべき借金の割合

標準財政規模
地方税や交付税など、自治体が標準的な行政サービスを提供する上で必要な一般財源の規模